

# ルネサスの環境活動

## ルネサス エレクトロニクスグループの環境活動

近年、企業の環境活動は、公害防止策はもとより、温室効果ガスの排出や廃棄物の削減、化学物質規制、製品含有化学物質規制など多岐にわたります。当社グループは、業界団体の協調目標を受け、生産活動における環境負荷の低減を推進し、お客様の環境性能向上を担う環境配慮型製品を開発、提供しています。こうした環境活動は、環境担当役員主催による環境推進会議にて年度方針・目標が議論され、グループ内に展開されます。

### 環境基本理念

わたしたちは、全ての事業活動を通じて、人と環境との調和を図ります。

### 環境行動指針

1. 研究開発・設計・調達・生産・販売・流通・使用・廃棄にいたる全ライフサイクルで環境に配慮した半導体製品を創出し、社会に貢献します。
2. 環境負荷の低減と汚染の防止に努め、万一、問題が生じた場合には、適切な措置を講じ、情報を公開します。
3. 環境関連法令・条例・協定などを遵守し、コンプライアンスに取り組みます。
4. ステークホルダーへの環境情報開示を図り、社会との相互理解のためにコミュニケーションを進めます。
5. 環境について理解を深め、事業活動との調和を図る職場風土を醸成します。

### 環境活動の3本柱

環境活動において大切な課題には、①法令の遵守 ②環境負荷の低減 ③環境に優しい製品の開発 ④ステークホルダーとの良好な関係維持などが挙げられます。

当社グループでは、これらの課題に対し「エコファクトリー活動」「エコプロダクト活動」「エココミュニケーション活動」を環境活動の3本柱として、「エコマネジメント活動」と呼ぶ、環境管理システムを基盤とした全員参加の環境経営を推進しています。

#### ●エコファクトリー活動 [工場の環境負荷軽減活動]

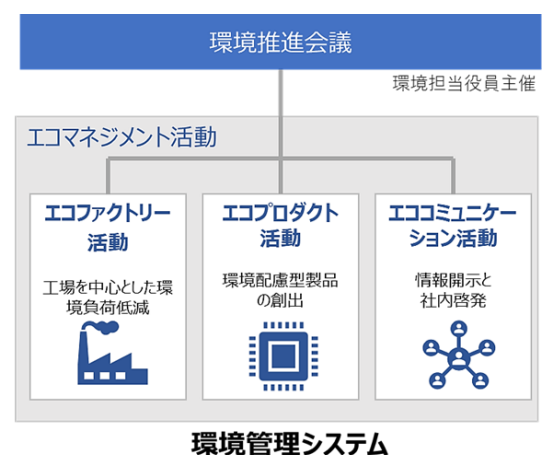
温室効果ガスの排出抑制、製造時に使用する化学物質管理により、生産工場の環境への負荷を低減する活動

#### ●エコプロダクト活動 [環境配慮型 製品開発活動]

製品に含有する化学物質管理、低消費電力製品の開発など、製品のライフサイクルで環境に配慮した半導体を提供する活動

#### ●エココミュニケーション活動 [環境教育・環境情報発信活動]

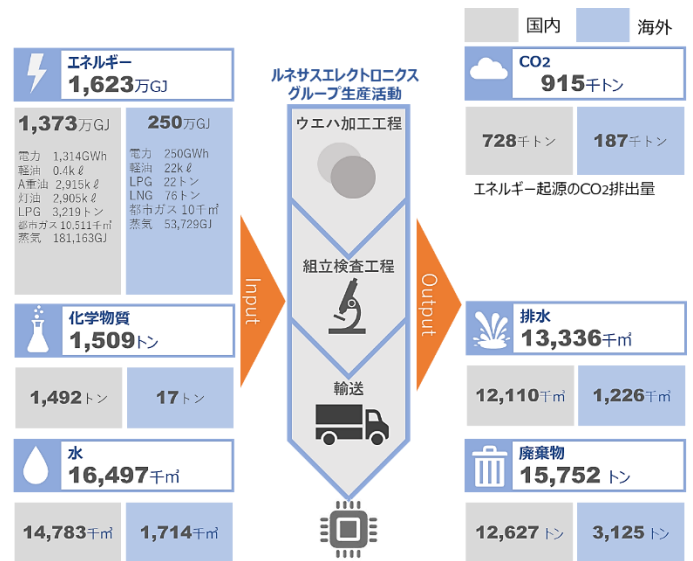
環境教育による従業員への意識啓発と、社会に対して当社グループの環境情報を広く公開する活動



## 当社グループの事業活動と環境負荷

当社グループが提供する半導体製品とソリューションは、お客様の製品・システムの省エネ化、小型化などを通じて、地球温暖化の防止、資源の有効活用といった地球環境保全活動に貢献しています。その一方で、製品を生産する際には「電力」「燃料」などのエネルギー、「化学物質」「水」などの資源を消費し、「廃棄物」「排水」「排ガス」を排出するため、環境負荷に大きな影響を与えることも事実です。

当社グループは、生産から物流までのインプット量とアウトプット量を詳細に捉え、計画的にこれらを削減することで、環境負荷の低減を図っています。さらに、限りある資源やエネルギーを有効に活用し、効率よく製造された、環境配慮型製品をお客様に提供し続けます。



2019 年度 環境負荷の概要 (2019 年 1 月～2019 年 12 月)

## 2019 年度の活動実績と 2020 年度の計画

| 項目                   | 2019 年度活動  | 2019 年度実績  | 内部評価 | 2020 年度の活動  |
|----------------------|--|--|------|---|
| <b>エコマネジメント活動</b>    | 環境マネジメントシステムの運営強化と ISO14001 認証維持                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報共有化プロセス、環境法令順守項目のグループ情報の環境法令順守評価内容の統一</li> <li>●EMS ガイドラインを改正</li> <li>●ISO14001:2015 認証を更新</li> </ul> | ◎    | 環境マネジメントシステムの運営強化と ISO14001 認証維持                      |
| <b>エコファクトリー活動</b>    | 基準年比 7%以上削減 (売上高エネルギー原単位)                        | 基準年比 42%削減 (売上高エネルギー原単位)   | ◎    | 基準年比 7.76%以上削減 (売上高エネルギー原単位)                          |
|                      | PFC <sup>※1</sup> 排出量を 2015 年度水準以下の維持 (ウエハ面積原単位) | PFC 排出量 2015 年比 0.024 ポイント低減 (ウエハ面積原単位)  | ◎    | PFC 排出量を 2015 年度水準以下の維持 (ウエハ面積原単位)                    |
| <b>エコプロダクト活動</b>     | 海外、国内の各種規制への適宜対応<br>新規量産開始製品における、グリーンデバイス比率の向上   | 規制の改正に適宜対応実施<br>グリーンデバイス認定比率 昨年度比 8.9 ポイント改善<br>2018 年度 : 75.9%<br>2019 年度 : 84.8%   | ◎    | 海外、国内の各種規制、および顧客要求に適宜対応<br>新規量産開始製品における、グリーンデバイス比率の向上 |
| <b>エココミュニケーション活動</b> | 電子版環境レポート発行                                      | HTML 版の環境レポートの社外 Web へ掲載   | ◎    | 環境レポートの内容刷新および発行                                      |
|                      | 階層別教育資料の充実<br>環境 e ラーニングの実施                      | 2019 年度版に教育資料を更新し、各教育を実施   | ◎    | 階層別教育や環境 e ラーニングなどの各種教育資料の刷新と実施                       |
|                      | 環境社会貢献活動の継続                                      | 地域住民との活動の実施など  | ◎    | 環境社会貢献活動の継続   |

※1 PFC : Perfluoro Compounds : パーフルオロ化合物 (半導体業界では CHF<sub>3</sub>、CF<sub>4</sub>、C<sub>2</sub>F<sub>6</sub>、C<sub>3</sub>F<sub>8</sub>、C<sub>4</sub>F<sub>8</sub>、SF<sub>6</sub>、NF<sub>3</sub> を指定しています)